

(2) 公民館・市民センター

1) 施設概要

① 施設一覧

本市では、芸術文化の振興や生涯学習の拠点として、公民館・市民センターを5施設設置しています。

公民館は、市民会館と併設しており、中部公民館は児童館(児童センター、中央子育て支援センター)と併設しています。また、市民センターは、図書室や行政窓口業務を行っている支所等を併設しています。

図表 施設一覧

名称	所在地	延床面積 (㎡)	建築 年度 (年度)	構造 (主たる建物)	複合・併設施設				備考
					図書室	児童館	支所 (行政窓口)	その他	
1 公民館	小牧市小牧二丁目107番地	4,918.0	昭和46	鉄筋コンクリート				市民会館	
2 中部公民館	小牧市小牧五丁目253番地	2,200.6	昭和56	鉄筋コンクリート		●		商工会議所	
3 東部市民センター (公民館)	小牧市篠岡二丁目23番地	3,215.5	平成元	鉄筋コンクリート	●		●		
4 北里市民センター (公民館)	小牧市下小針中島二丁目130番地	2,310.4	平成4	鉄筋コンクリート	●	●	●	消防署	
5 味噌市民センター (公民館)	小牧市久保新町60番地	4,322.7	平成7	鉄筋コンクリート	●		●	消防署	
合計		16,967.2							

② 事業内容

- ・主催事業の開催(市民講座・高齢者学級等)
- ・施設の貸出し(ダンス・民謡、書道・茶道・華道、詩吟、音楽、絵画、手芸・手工芸、外国語・日本語、写真、その他サークル活動)
- ・学習室無料開放(生徒・学生対象)等

③ 開館時間等(平成24年度)

開館時間	休館日	開館日数
午前9時から午後9時30分まで	毎週月曜日、年末年始	公民館 316日 中部公民館 308日 市民センター 308日

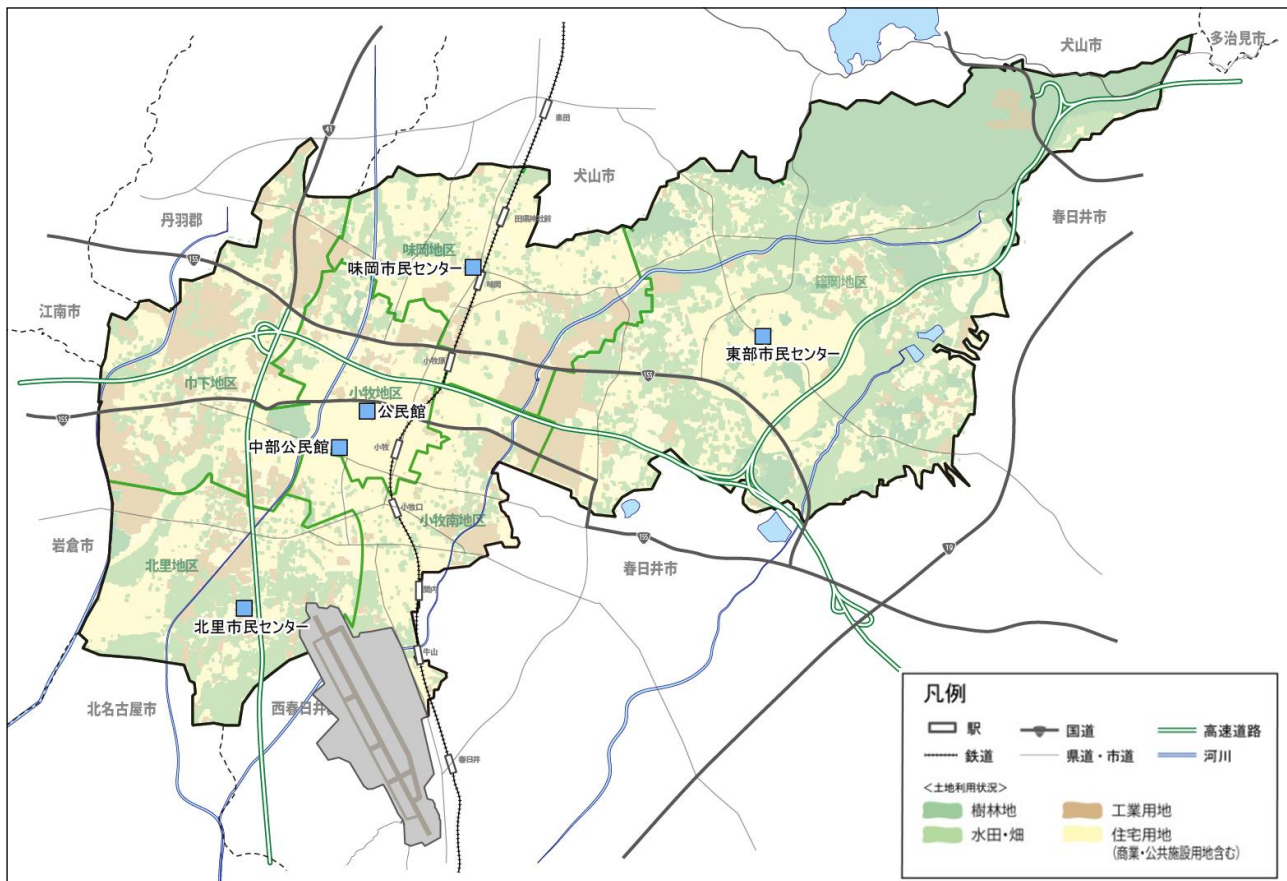
④ 利用方法

利用にあたっての事前予約は、利用日の属する月の6カ月前の月の初日から受付します。

使用料は基本的に有料です。ただし、小牧市公民館使用料減免要綱等に基づく団体が使用する場合は、使用料の減免が適用されます。

⑤ 配置状況

図表 公民館・市民センター位置図



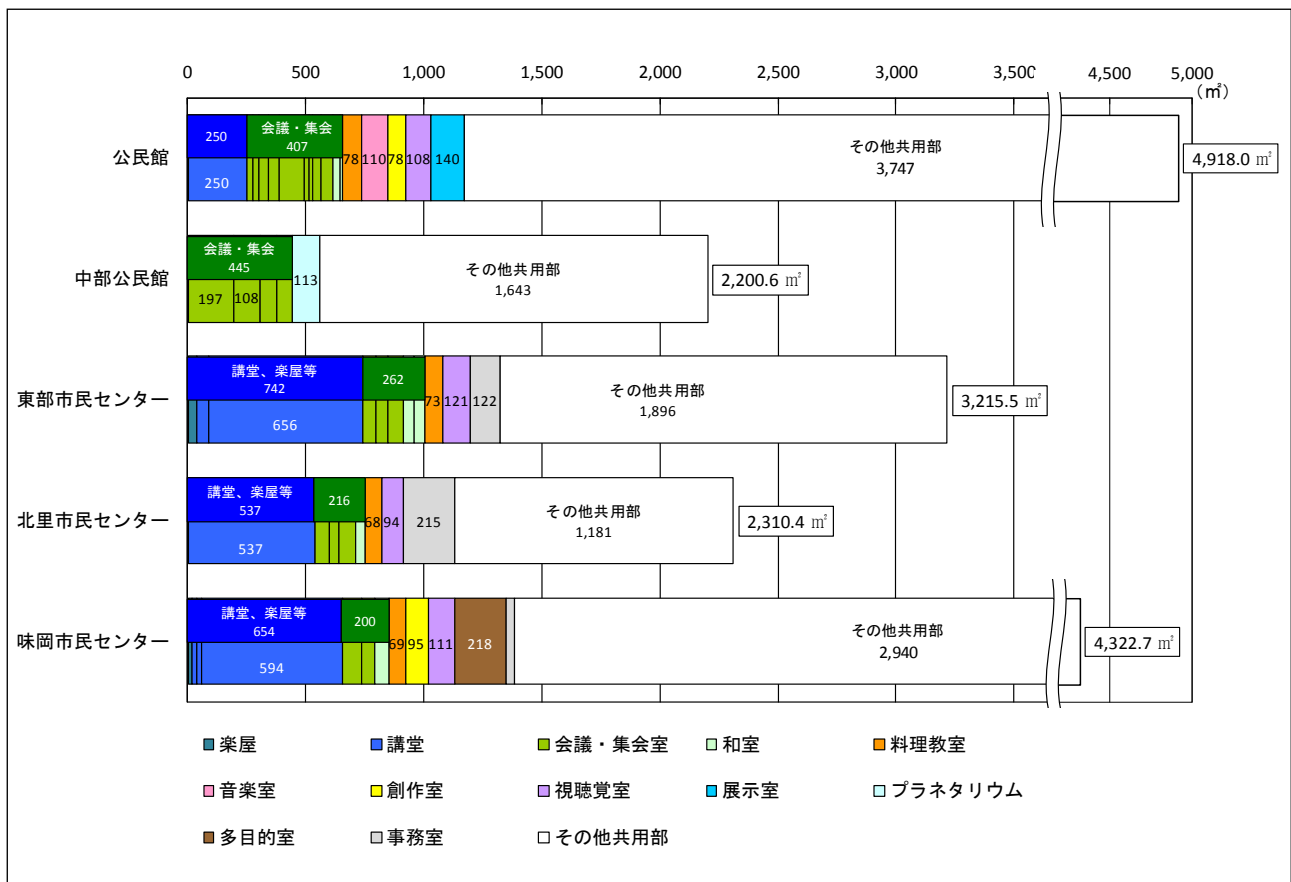
⑥ スペース構成

公民館・市民センターの延床面積は、中部公民館の2,201 m²から公民館の4,918 m²となっています。

公民館と東部、北里、味岡の各市民センターは、ホールを兼ねる講堂と、会議や集会(研修)等の場としての機能が中心となっており、他に料理実習用の教室、視聴覚室等を設置し、さらに味岡市民センターは音楽やダンスができる多目的室や工芸実習ができる創作室を設置しています。

中部公民館は、会議や集会(研修)等の場としての機能とプラネタリウムを設置しています。

図表 スペース構成（平成24年度）



2) 実態把握

① 建物状況

■ 公民館・市民センターの建物総合評価結果

平成 25 年度の公民館・市民センター5 施設の建物状況について評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③バリアフリー対応						④環境対応			⑤維持管理(H24年度)					
																	維持管理費 (千円)			床面積当たり (円/㎡)		
		建築年度	延床面積 (㎡)	耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	車いす用エレベーター※1	障がい者用トイレ	車いす用スロープ	自動ドア	手すり	トイレの洋式化	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	公民館	昭和46	4,918	—	42	平成21	4	○	○	○	○	×	○	○	○	○	指定管理委託料に含まれるため評価対象外とする					
2	中部公民館	昭和56	2,201	—	32	平成17	8	○	○	○	○	×	○	×	×	×						
3	東部市民センター(公民館)	平成元	3,216	—	24	平成21	4	○	○	○	○	×	○	×	×	×	11,757	23,047	3,856	3,656	7,168	1,199
4	北里市民センター(公民館)	平成4	2,310	—	21	平成21	4	○	○	○	○	×	○	×	×	×	9,693	19,056	929	4,196	8,248	402
5	味岡市民センター(公民館)	平成7	4,323	—	18	平成25	0	○	○	○	○	×	○	×	×	×	14,961	20,769	3,412	3,461	4,805	789
	合計		16,967														36,411	62,872	8,198	3,697	6,384	832

①、③、④ の記載例	実施済み：○ 未実施：× 不要：—	※ 1 手すり・鏡・低い操作ボタン等の設置 ※ 2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備 ※ ①の「不要：—」には、耐震診断の結果耐震化が不要な施設と 新耐震基準施設のため不要な施設が含まれる。
⑤の凡例	床面積当たり（円／㎡）の平均値 （床面積当たり（円／㎡）の平均値＝それぞれの費用の合計／延床面積の合計） ：平均値の1.4倍	

中部公民館等 4 施設は、大規模改修を実施した施設又は比較的新しい施設ですが、バリアフリー対応や環境対応等が一部完了していない施設があるため、計画的な改修等での対応が望まれます。(パターンD)

公民館は、特に問題がない施設です。(パターンE)

評価	パターンD バリアフリー・環境未対応 ・バリアフリー、環境対応が未完了	パターンE 問題なし ・特に問題がない施設 (大規模改修実施済み施設も含む)
該当施設	該当施設 建築年度 中部公民館 昭和56 東部市民センター(公民館) 平成元 北里市民センター(公民館) 平成4 味岡市民センター(公民館) 平成7 ＜ 4 施設 ＞	該当施設 建築年度 公民館 昭和46 ＜ 1 施設 ＞
	コメント ・バリアフリーや環境対応が完了していないため、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれる施設です。	—

② 利用状況

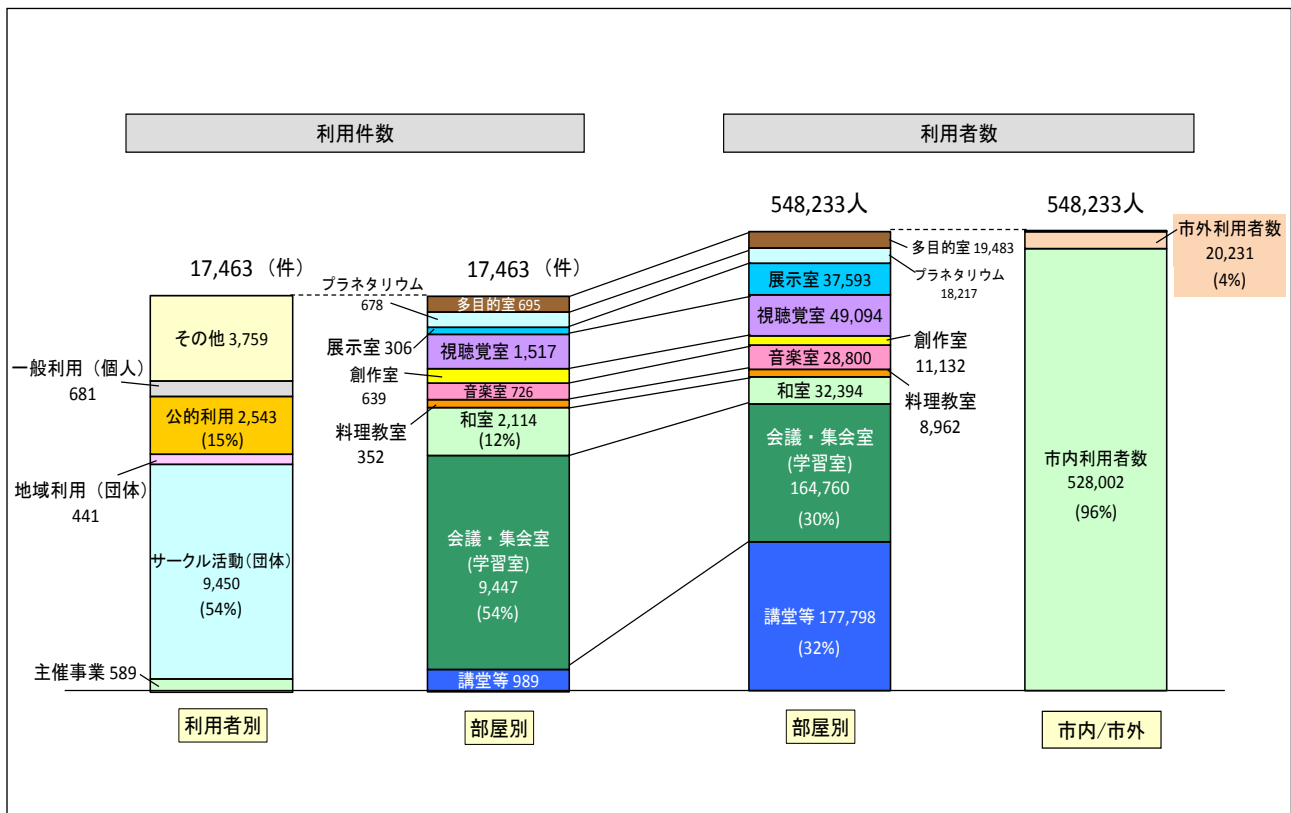
■ 年間利用件数・利用者数

利用件数は年間約 1.7 万件、利用者数は約 54.8 万人です。

利用件数の利用者別の内訳をみると、サークル活動が 54%を占めています。次いで、市や県等の公的利用が 15%を占めています。部屋別の内訳をみると、会議・集会室（学習室）が 54%を占めており、次いで和室が 12%を占めています。

利用者数の部屋別の内訳をみると、講堂等が 32%を占めており、次いで会議室・集会室（学習室）が 30%を占めています。

図表 年間利用件数・年間利用者数（平成 24 年度）



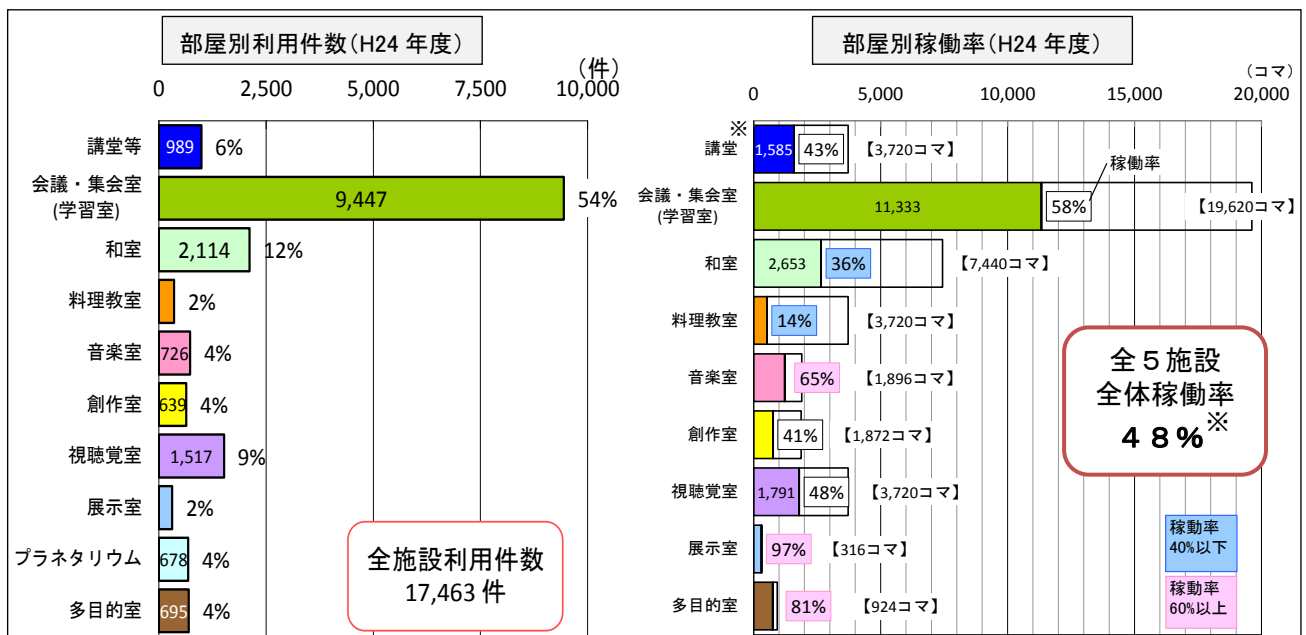
■ 部屋別の利用状況

公民館・市民センターの部屋別の利用件数は、会議・集会室（学習室）が最も多く、54%を占めています。

平成24年度の全5施設の全体稼働率は48%であり、部屋ごとにみると、利用件数の中心である会議・集会室機能が58%となっています。一方、利用者数の32%を占めている講堂は43%です。他には、多目的室が81%や展示室が97%と高い一方、和室が36%、料理教室が14%と低い状況です。

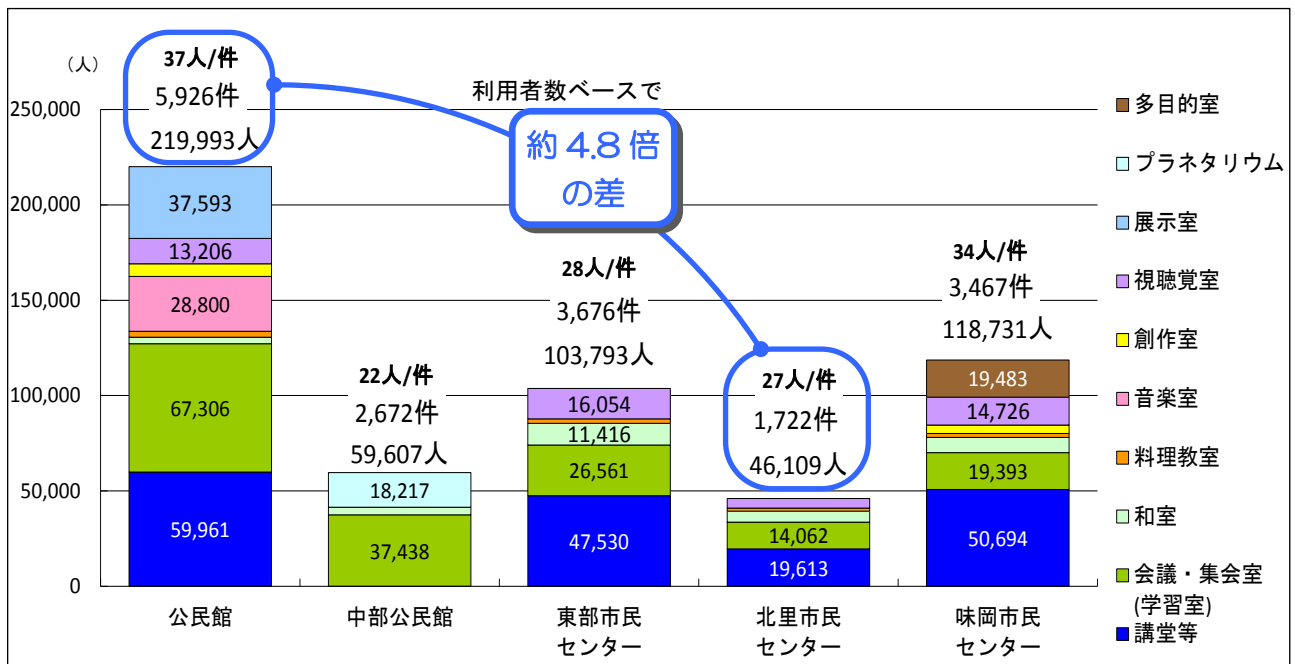
各施設の利用者数をみると、最も多い公民館は、年間約22.0万人（1日当たり696人）、最も少ない北里市民センターは、年間約4.6万人（1日当たり150人）であり、施設間に大きな差があります。

図表 全体・部屋別利用件数及び稼働率（平成24年度）



※ 楽屋、プラネタリウムは稼働率算定から除く

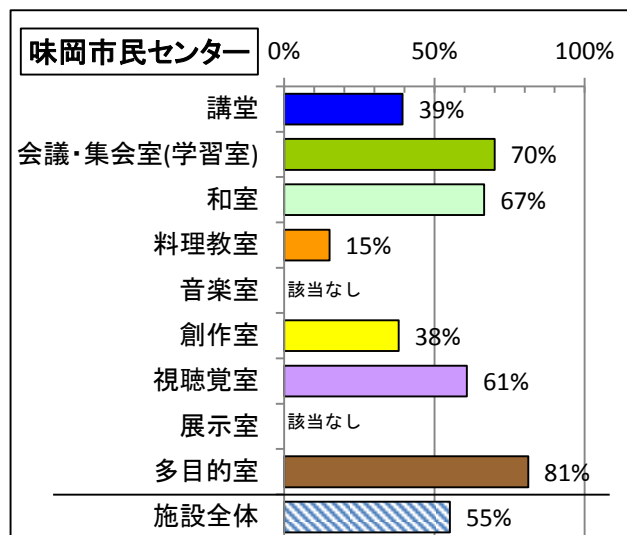
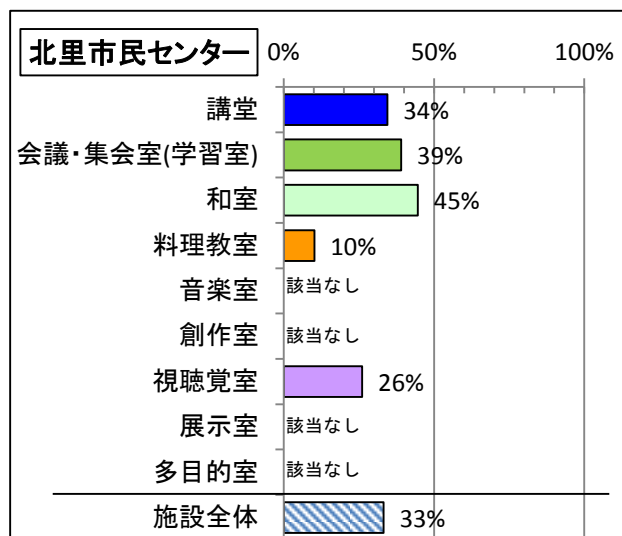
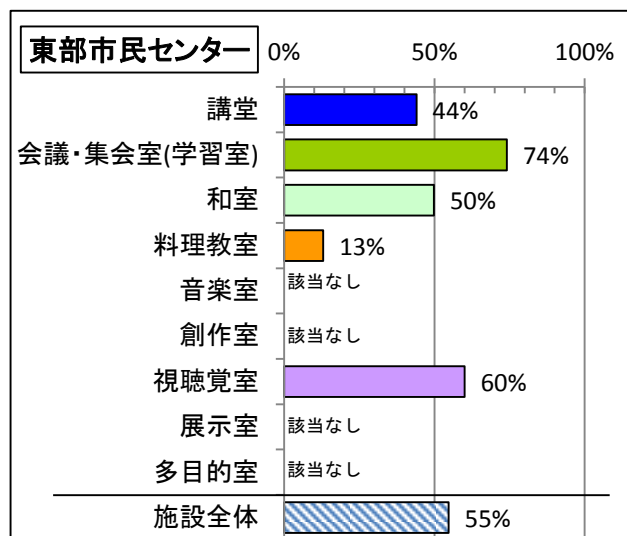
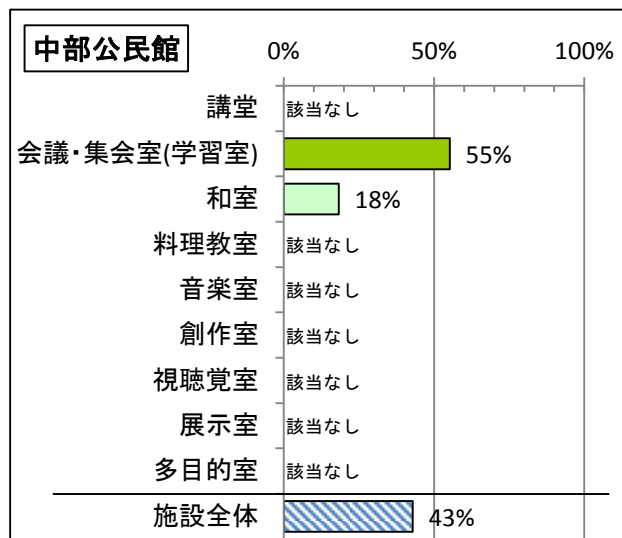
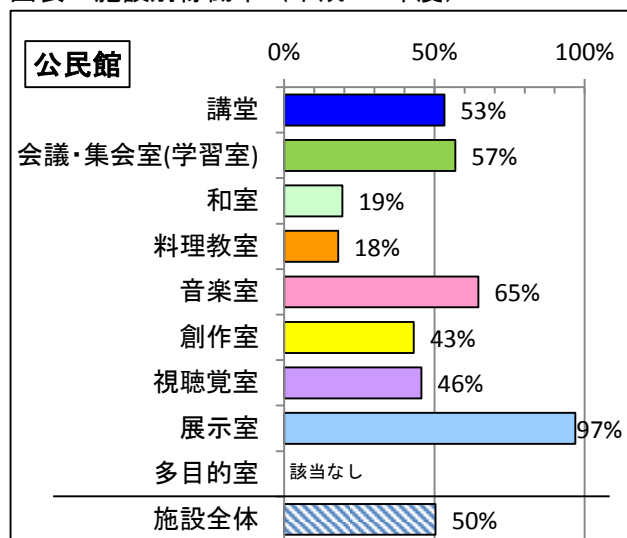
図表 施設別・部屋別利用者数（平成24年度）



■ 施設別稼働率

公民館・市民センター全5施設の稼働率が48%である中、施設ごとの稼働率は、最も高い東部市民センター、味岡市民センターが55%であり、最も低い北里市民センターが33%です。

図表 施設別稼働率（平成24年度）

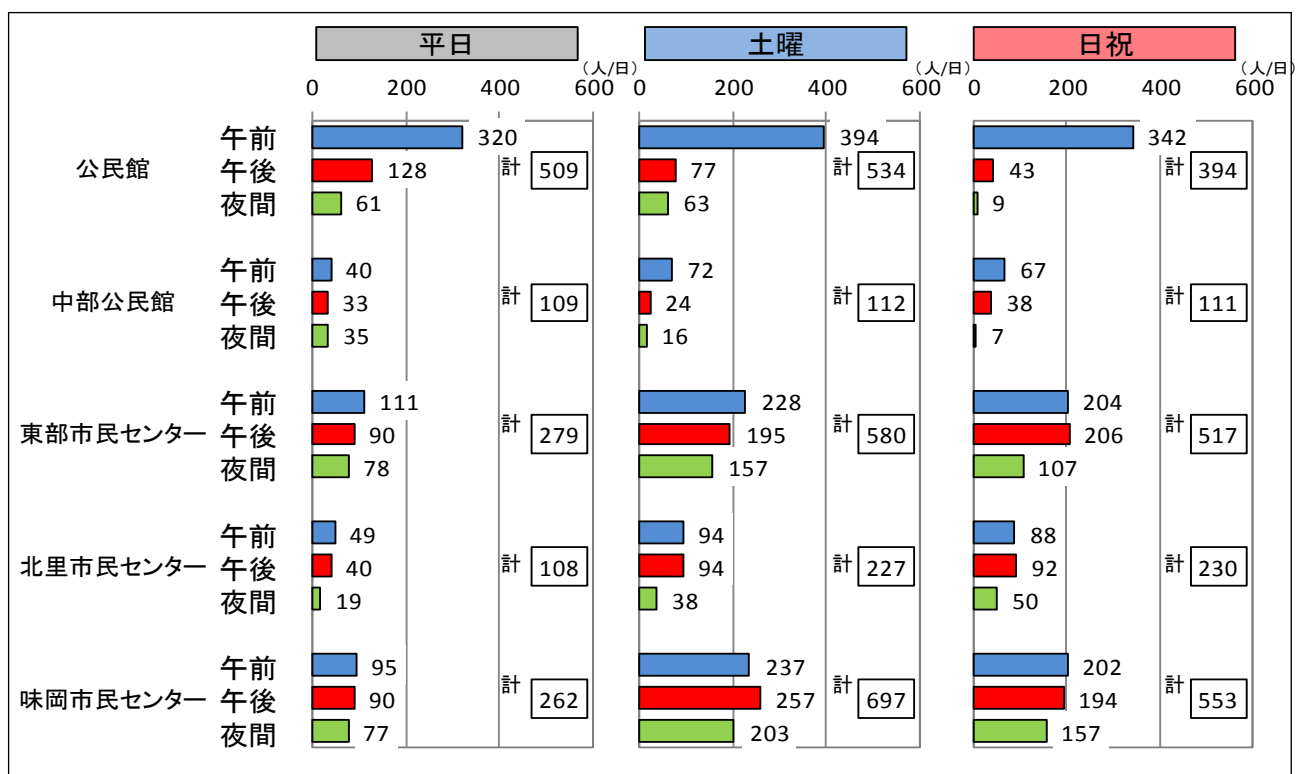


■ 時間帯別利用状況

時間帯別の利用状況をみると、公民館と中部公民館は午前の利用が多い傾向となっています。
その他の施設は、午前と午後の利用が同程度となっています。

また、東部市民センター、北里市民センター及び味岡市民センターは、1日当たりの利用者数は平日よりも土曜日、日曜日・祝日が多くなっています。

図表 平日土日別時間帯利用状況



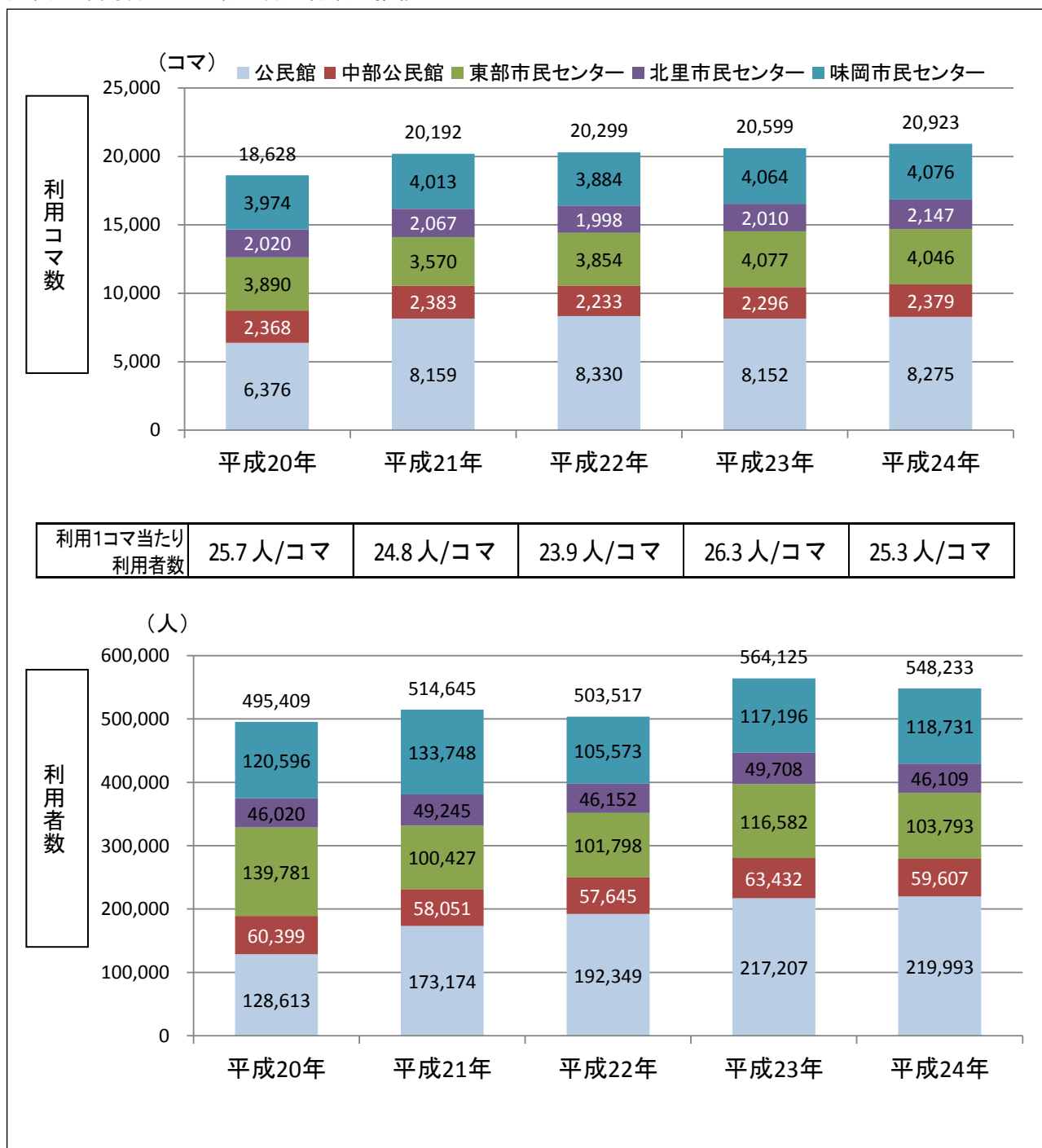
■ 利用推移

利用コマ数の推移は、1万8,628コマから2万923コマと微増傾向で推移しています。

利用者数の推移は、49万5,409人から56万4,125人で年度により多少増減はありますが、微増傾向で推移しています。

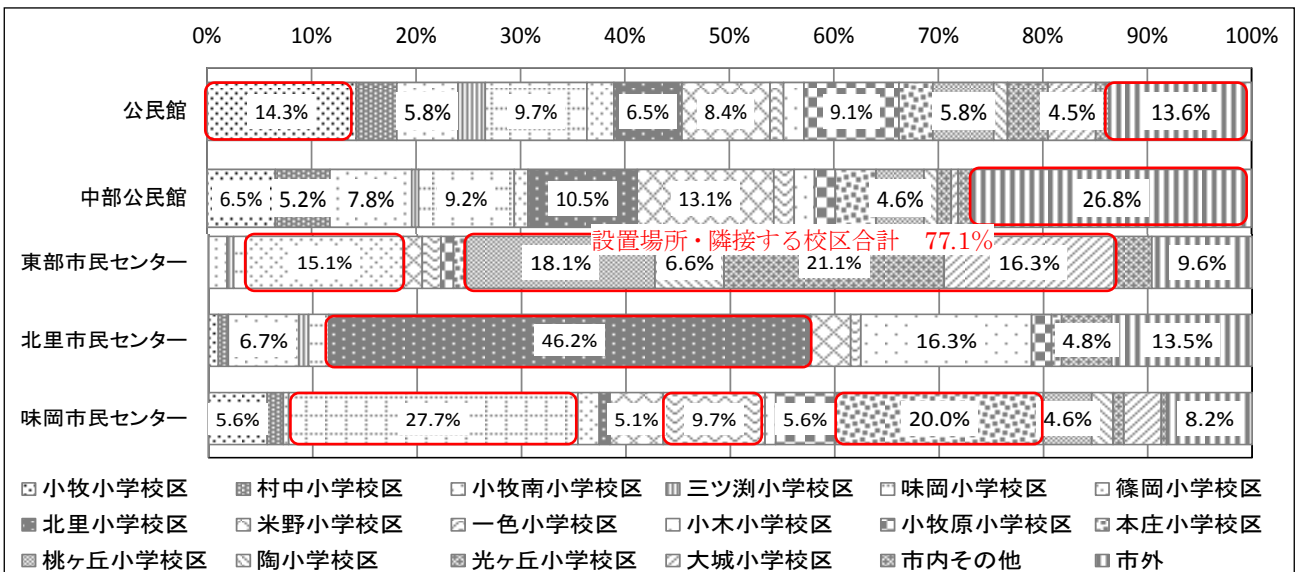
利用1コマ当たりの利用者数は、平成20年度25.7人/コマでしたが、平成23年度は26.3人/コマとなっており、おおむね24～26人/コマで利用されています。

図表 年間利用コマ数・利用者数の推移

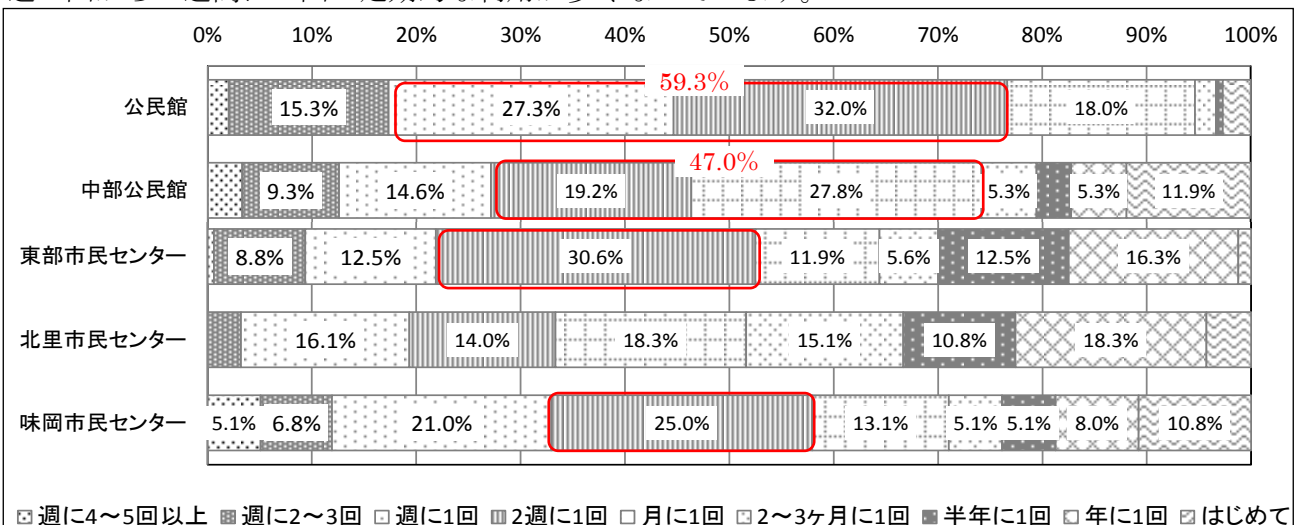


■ 利用者アンケート

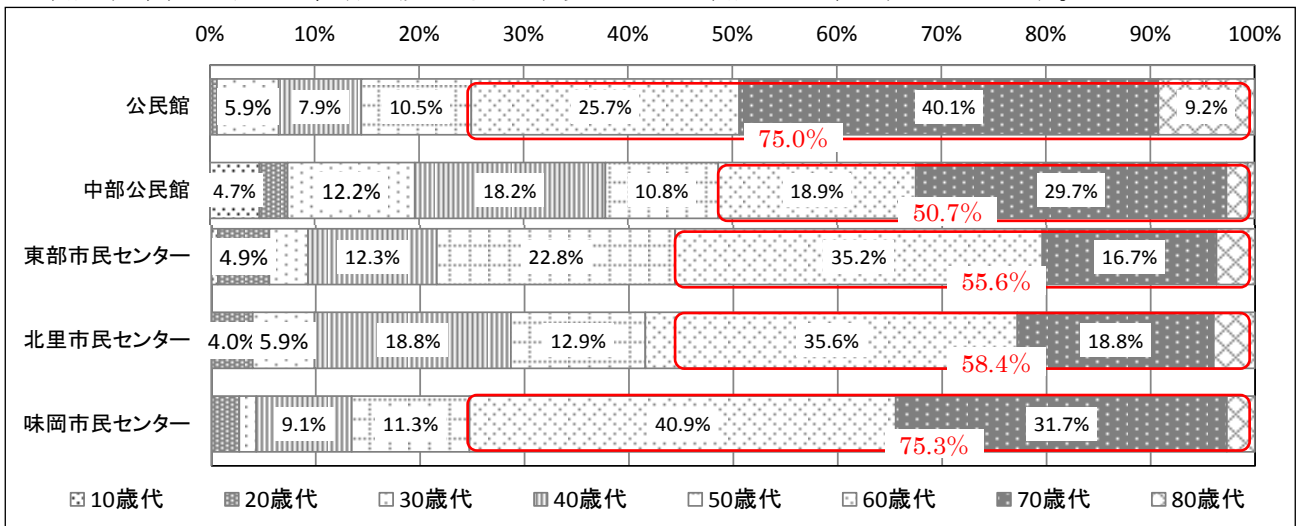
利用者の居住地をみると、中部公民館は、市外利用が最も多く、市内は全市域から利用があります。その他4施設は設置地区の利用が多くなっています。



利用頻度をみると、北里市民センターはさまざまな頻度で利用されています。その他4施設は、週1回から2週間に1回の定期的な利用が多くなっています。



利用者年代をみると、各施設とも60歳以上の方の利用が過半を占めています。



■ 運営状況

公民館・市民センターのうち、公民館及び中部公民館は指定管理者制度を導入しています。市民センター3施設は市職員等による市の直営ですが、窓口事務や舞台管理を民間に委託しています。

各施設の運営人員をみると、指定管理者職員は、公民館が5.75人、中部公民館が7.5人従事しています。

市民センター公民館の運営人員は、東部市民センターが5人、北里市民センターが4人、味岡市民センターが4人従事しています。

図表 運営人員（平成24年度）

（人）

		公民館	中部公民館	東部市民センター	北里市民センター	味岡市民センター	合計
運営形態		指定管理	指定管理	直営	直営	直営	
施設維持管理	一般職員			1.50	0.50	1.00	3.00
	再任用職員				0.40		0.40
	指定管理者職員	3.25	0.50				3.75
	委託職員			1.00	1.00	1.00	3.00
	計	3.25	0.50	2.50	1.90	2.00	10.15
施設利用に関する受付・案内	一般職員						
	嘱託職員	0.50					0.50
	指定管理者職員	1.50	3.00				4.50
	委託職員			1.00	1.00	1.00	3.00
	計	2.00	3.00	1.00	1.00	1.00	8.00
各種講座・講演会等の企画・開催	一般職員			0.60		0.50	1.10
	再任用職員				0.30		0.30
	嘱託職員	0.50					0.50
	指定管理者職員		2.00				2.00
	計	0.50	2.00	0.60	0.30	0.50	3.90
事務・庶務	一般職員			0.90	0.50	0.50	1.90
	再任用職員				0.30		0.30
	指定管理者職員	1.00	2.00				3.00
	計	1.00	2.00	0.90	0.80	0.50	5.20
合計	一般職員			3.00	1.00	2.00	6.00
	再任用職員				1.00		1.00
	嘱託職員	1.00					1.00
	指定管理者職員	5.75	7.50				13.25
	委託職員			2.00	2.00	2.00	6.00
	合計	6.75	7.50	5.00	4.00	4.00	27.25

■ 運営体制

公民館及び中部公民館は、一般職員及び臨時職員、嘱託職員が従事し、一般職員と臨時職員は、不規則ローテーションで従事しています。

公民館の一般職員及び臨時職員、嘱託職員は、市民会館と兼ねています。また、土・日曜日・祝日は行事により運営体制が変わります。

市民センターは、一般職員、再任用職員（北里市民センターのみ）、委託職員が従事しています。また、舞台担当技術員（委託職員）は、イベント内容により増員されます。

図表 運営体制（平成 24 年度）

公民館		8:30	16:45	22:00
	平日(火～金) 土・日曜日・祝日 運営体制 12人	一般職員(指定管理者職員) 7人 ※1,※2,※3 臨時職員(指定管理者職員) 4人 ※1,※2,※3 嘱託職員(指定管理者職員) 0.25人 ※1,※3 嘱託職員(指定管理者職員) 1人		17:00
中部公民館		8:30	17:15	22:15
	平日(火～金) 土・日曜日・祝日 運営体制 7人	一般職員(指定管理者職員) 2人 ※2 臨時職員(指定管理者職員) 4人 ※2 嘱託職員(指定管理者職員) 0.5人 嘱託職員(指定管理者職員) 1人	7:30 9:00 16:45	

※1 市民会館と兼ねる

※2 不規則ローテーション勤務

※3 土・日・祝日は行事による

市民センター公民館		8:30	17:15	21:30
	平日(火～金) 土・日曜日・祝日 運営体制 約3～5人	一般職員 1～3人 再任用職員 1人 ※1 委託職員 2人 ※2		

※1 北里市民センターのみ（一般職員と重ならない日に勤務）

※2 イベント内容により舞台担当技術員の増員あり

③ コスト状況

■ 指定管理施設のコスト状況（対象2施設）

・ 公民館

市のコストと指定管理者のコストをあわせて整理した公民館の年間トータルコストは、8,287万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕料、光熱水費等）は2,734万円（33%）、事業運営にかかるコスト（人件費、その他委託費等）は3,964万円（48%）、減価償却相当額は1,589万円です。当該施設から年間894万円の収入があります。

図表 公民館 行政コスト計算書（平成24年度）（円）

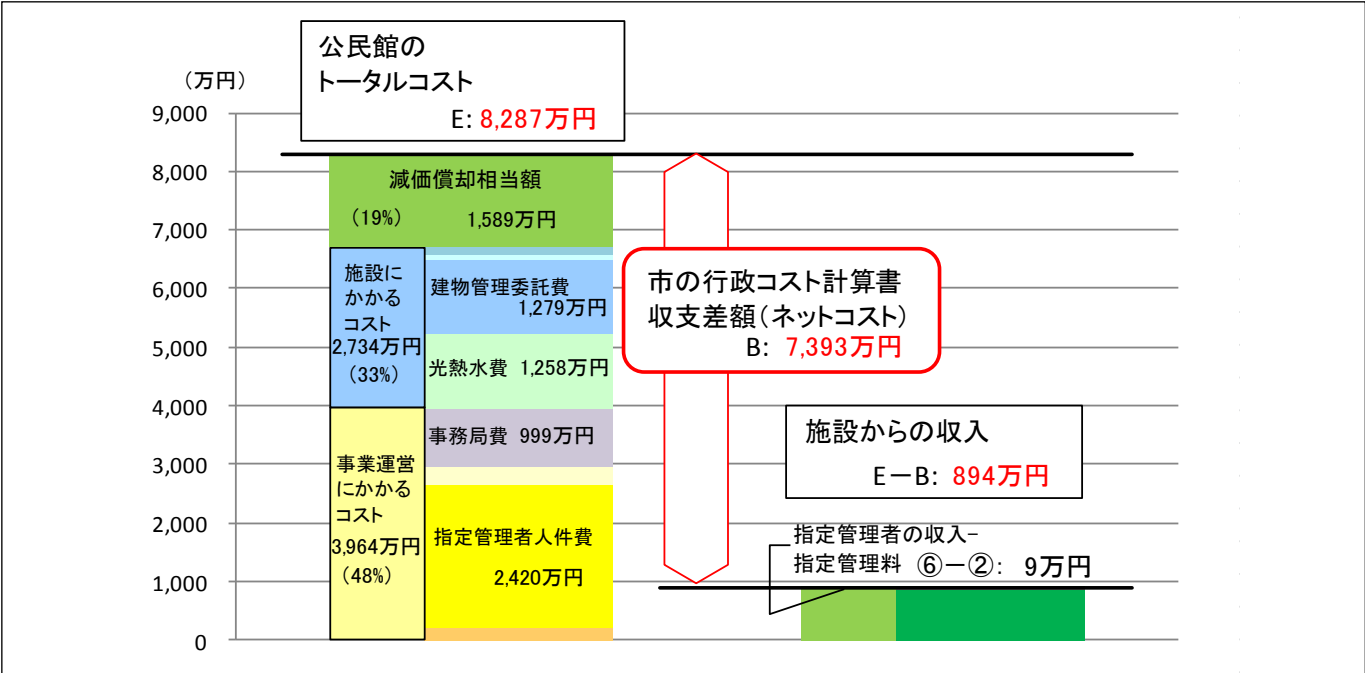
市の行政コスト計算書

Ⅰ. 現金収支を伴うもの【コストの部】		公民館
施設にかかるコスト	改修費	0
	光熱水費	0
	建物管理委託費	0
	使用料及び賃借料	31,390
	施設にかかるコスト計	31,390
事業運営にかかるコスト	嘱託職員人件費	2,212,800
	車両・備品購入費	0
	負担金補助及び交付金	20,800
	その他物件費	1,414,714
	事業運営にかかるコスト計	3,648,314
指定管理料 ②		63,210,367
現金収支を伴うコスト 計 ①		66,890,071
【収入の部】		
使用料収入		8,569,251
諸収入		273,750
現金収支を伴う収入 計 ④		8,843,001
Ⅱ. 現金収支を伴わないもの【コストの部】		
減価償却相当額 ③		15,887,580
Ⅲ. 総括		
コストの部合計(トータルコスト) (①+③)		82,777,651
収支差額(ネットコスト) (A-④)		73,934,650

（円）

指定管理者のコスト計算書	Ⅰ. 現金収支を伴うもの 【コストの部】		公民館
	施設にかかるコスト	修繕料	780,971
		光熱水費	12,583,686
		建物管理委託費	12,786,838
		使用料及び賃借料	1,160,768
		施設にかかるコスト計	27,312,263
	事業運営にかかるコスト	指定管理者人件費	24,197,712
		委託費	0
		その他物件費	1,804,149
		事務局費	9,991,006
		事業運営にかかるコスト計	35,992,867
	現金収支を伴うコスト 計 ⑤		63,305,130
	【収入の部】		
	指定管理料 ②		63,210,366
	諸収入等		94,764
現金収支を伴う収入 計 ⑥		63,305,130	
Ⅲ. 総括			
コストの部合計（トータルコスト） （⑤）		63,305,130	
指定管理者収支（⑥-⑤）		0	
市と指定管理者の純計後トータルコスト （E=A+C+D-②）		82,872,415	

図表 公民館トータルコスト（平成24年度）



・ 中部公民館

市のコストと指定管理者のコストをあわせて整理した中部公民館の年間トータルコストは、9,485 万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（修繕料、光熱水費等）は 4,285 万円（45%）、事業運営にかかるコスト（人件費、事務局費等）は 4,811 万円（51%）、減価償却相当額は 389 万円です。当該施設から年間 439 万円の収入があります。

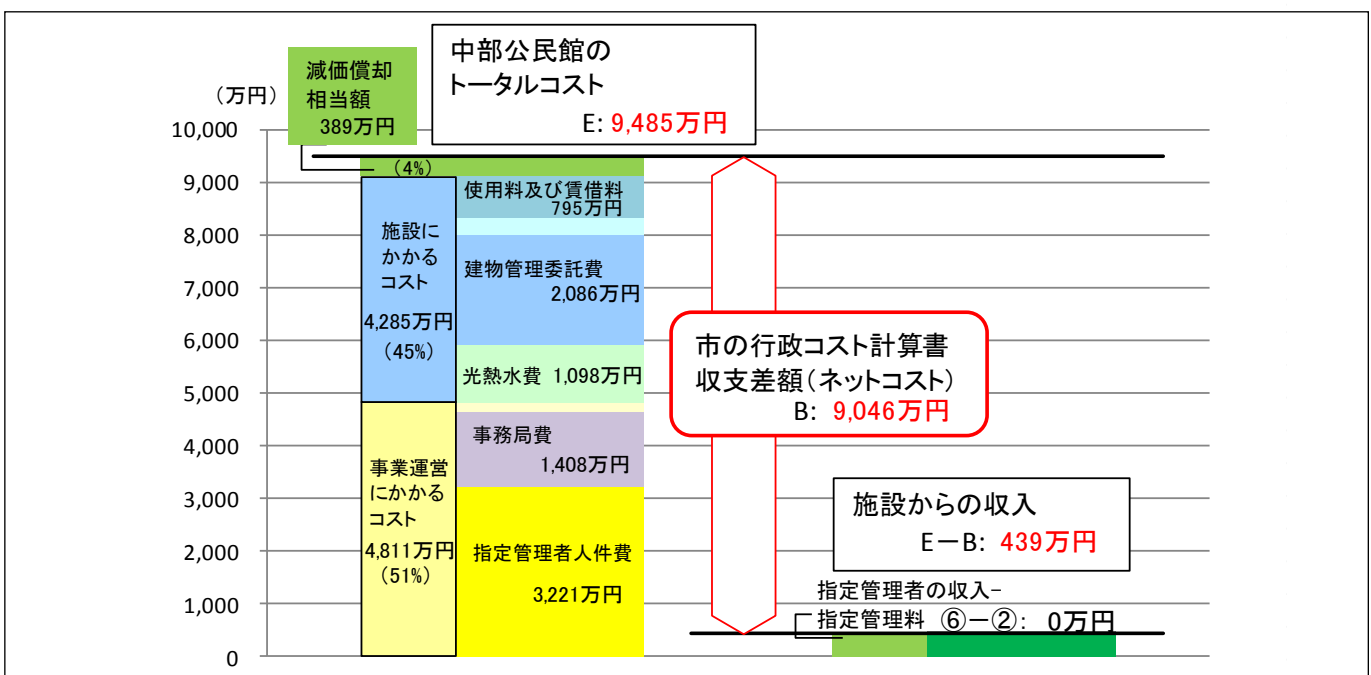
図表 中部公民館 行政コスト計算書（平成 24 年度）（円）

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		中部公民館
施設にかかるコスト	改修費	0
	光熱水費	0
	建物管理委託費	0
	使用料及び賃借料	6,770,918
	施設にかかるコスト計	6,770,918
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	0
	修繕費	0
	車両・備品購入費	0
	その他物件費	0
	事業運営にかかるコスト計	0
指定管理料 ②		84,187,441
現金収支を伴うコスト 計 ①		90,958,359
【収入の部】		
使用料収入		4,370,004
諸収入		23,200
現金収支を伴う収入 計 ④		4,393,204
II. 現金収支を伴わないもの【コストの部】		
減価償却相当額 ③		3,890,194
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）（①+③）		94,848,553 A
収支差額（ネットコスト）（A-④）		90,455,349 B

（円）

I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		中部公民館
施設にかかるコスト	修繕料	3,052,292
	光熱水費	10,984,307
	建物管理委託費	20,863,920
	使用料及び賃借料	1,175,130
	施設にかかるコスト計	36,075,649
事業運営にかかるコスト	指定管理者人件費	32,211,909
	負担金補助及び交付金	15,000
	その他物件費	1,804,149
	事務局費	14,080,734
	事業運営にかかるコスト計	48,111,792
現金収支を伴うコスト 計 ⑤		84,187,441
【収入の部】		
指定管理料 ②		84,187,441
諸収入等		0
現金収支を伴う収入 計 ⑥		84,187,441
III. 総括		
コストの部合計（トータルコスト）（⑤）		84,187,441 C
指定管理者収支（⑥-⑤）		0 D
市と指定管理者の純計後トータルコスト（E=A+C+D-②）		94,848,553 E

図表 中部公民館トータルコスト（平成 24 年度）



■ 直営施設のコスト状況（対象3施設）

直営施設である市民センター3施設の年間トータルコストは、2億8,497万円です。1施設当たり平均9,499万円です。

年間トータルコストのうち、施設にかかるコストが1億3,658万円（48%）、事業運営にかかるコストが7,030万円（25%）、減価償却相当額が7,809万円となっています。

図表 施設別行政コスト計算書（平成24年度）

（円）

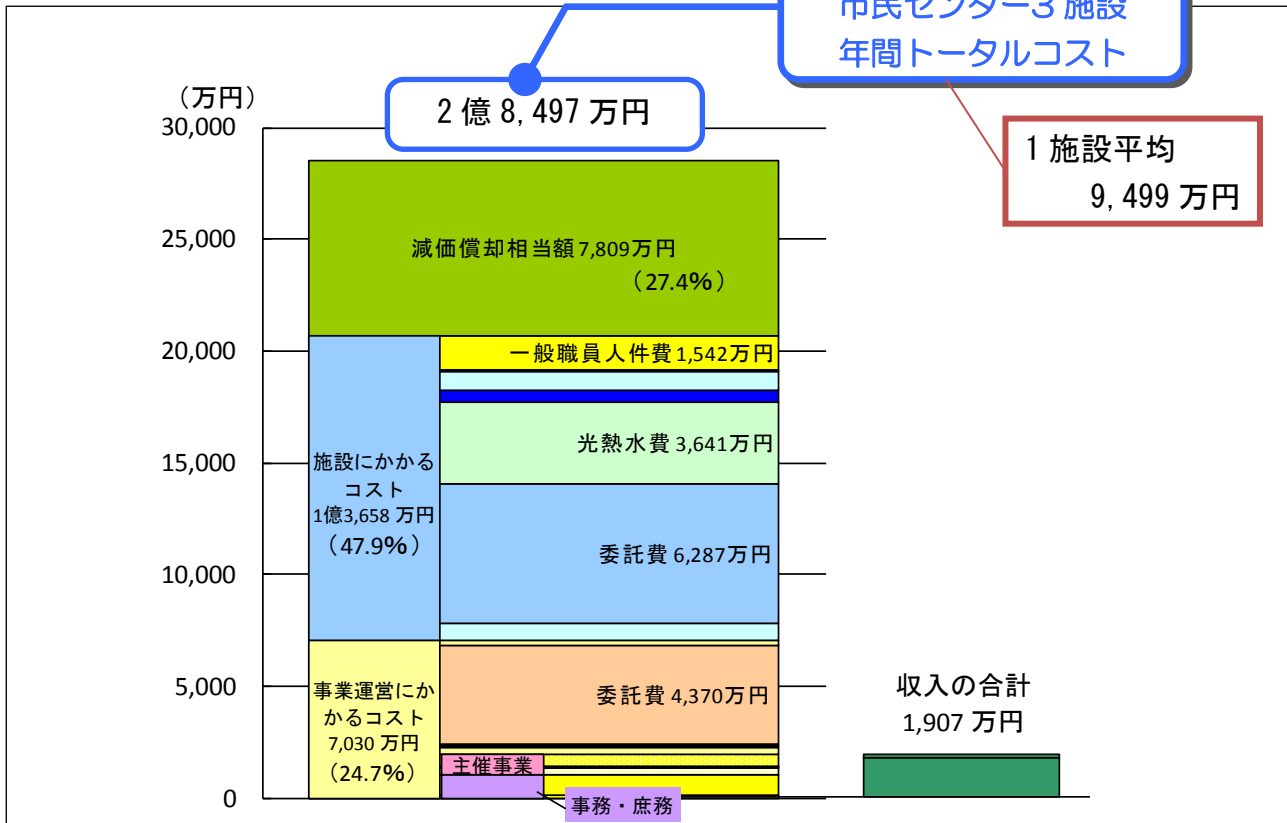
I. 現金収支を伴うもの【コストの部】		東部市民 センター	北里市民 センター	味岡市民 センター	合計		
施設に かかる コスト	一般職員人件費	7,707,916	2,569,305	5,138,611	15,415,832		
	再任用職員人件費	0	1,018,042	0	1,018,042		
	修繕費	3,856,249	929,250	3,412,050	8,197,549		
	改修費	0	0	4,987,500	4,987,500		
	光熱水費	11,756,731	9,693,301	14,961,118	36,411,150		
	委託費	23,047,262	19,055,680	20,769,440	62,872,382		
	使用料及び賃借料	194,040	2,824,359	4,659,956	7,678,355		
	施設にかかるコスト	46,562,198	36,089,937	53,928,675	136,580,810		
事業 運営に かかる コスト	事業 運 営	一般職員人件費	0	0	0	0	
		嘱託職員人件費	0	0	0	0	
		修繕費	488,719	1,644,305	214,004	2,347,028	
		委託費	14,809,112	13,558,037	15,330,964	43,698,113	
		使用料及び賃借料	284,577	282,900	797,387	1,364,864	
		車両・備品購入費	93,714	99,855	37,000	230,569	
		負担金補助及び交付金	0	0	0	0	
		その他物件費	1,116,828	852,730	1,129,979	3,099,537	
	主催事業	事業運営	16,792,950	16,437,827	17,509,334	50,740,111	
		一般職員人件費	3,083,166	0	2,569,305	5,652,471	
		再任用職員人件費	0	763,532	0	763,532	
		使用料及び賃借料	0	21,150	10,650	31,800	
		その他物件費	1,254,222	479,695	852,990	2,586,907	
		主催事業	4,337,388	1,264,377	3,432,945	9,034,710	
		事務・庶務	一般職員人件費	4,624,750	2,569,305	2,569,305	9,763,360
			再任用職員人件費	0	763,532	0	763,532
事務・庶務		4,624,750	3,332,837	2,569,305	10,526,891		
事業運営にかかるコスト		25,755,088	21,035,040	23,511,584	70,301,712		
現金収支を伴うコスト 計		72,317,286	57,124,978	77,440,259	206,882,522		
【収入の部】							
収入	分担金及び負担金(収入)	0	0	0	0		
	手数料収入	0	0	0	0		
	使用料収入	5,906,105	3,712,066	7,716,733	17,334,904		
	諸収入	595,420	265,440	872,330	1,733,190		
収入の合計		6,501,525	3,977,506	8,589,063	19,068,094		
II. 現金収支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	23,402,306	19,164,325	35,519,694	78,086,325		
III. 総括							
コストの部合計(トータルコスト)		95,719,591	76,289,302	112,959,953	284,968,847		
収支差額(ネットコスト)		89,218,066	72,311,796	104,370,890	265,900,753		

(2) 公民館・市民センター

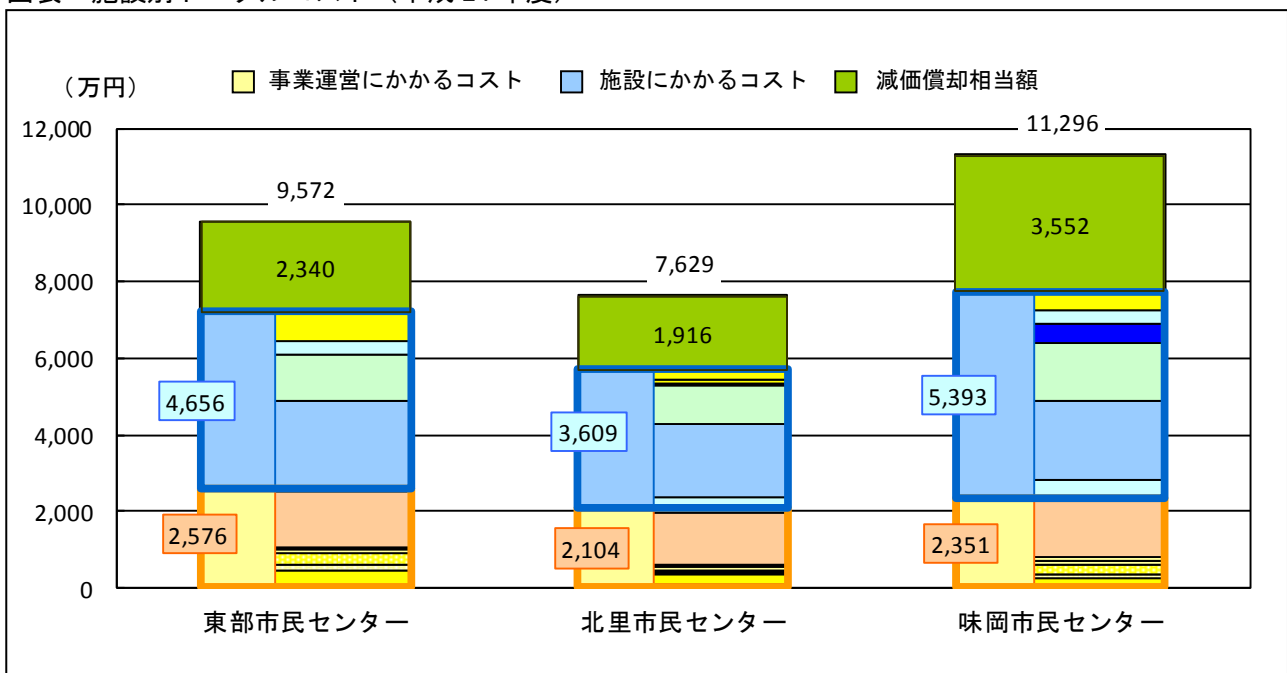
直営施設である市民センターの全施設トータルコストのうち、一般職員等の人件費が3,338万円（約12%）、事業運営に関する委託費が4,370万円（約15%）を占めています。

施設別トータルコストでは、東部市民センターが9,572万円、北里市民センターが7,629万円、味岡市民センターが1億1,296万円となっています。

図表 全施設トータルコスト（平成24年度）



図表 施設別トータルコスト（平成24年度）

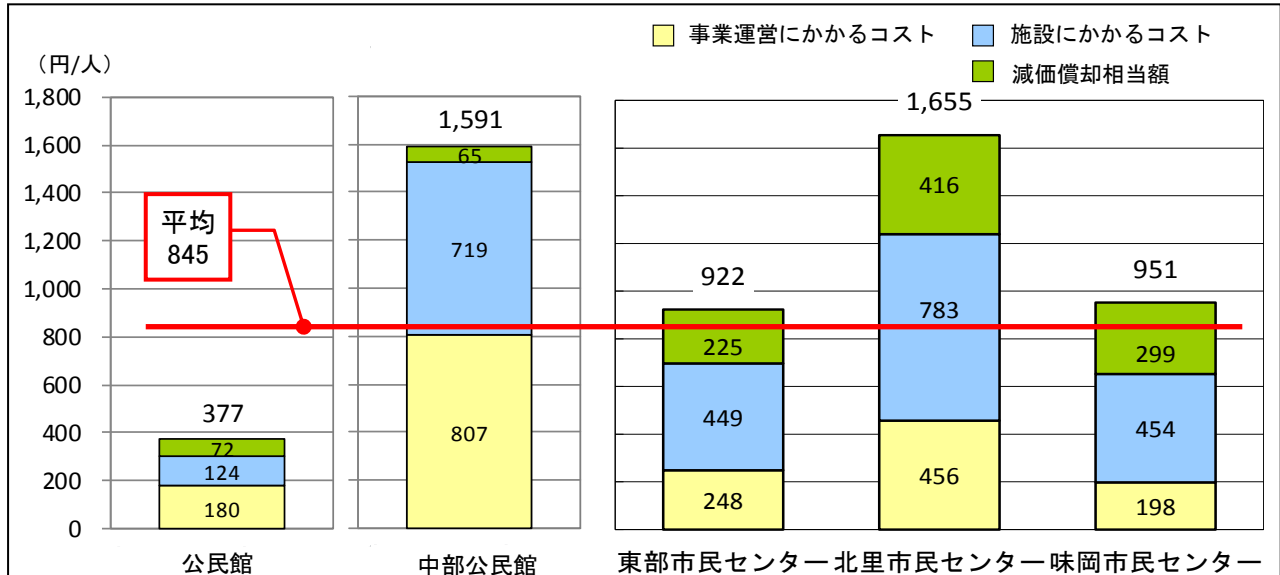


3) 評価・分析

■ 利用者1人当たりにかかるコスト

年間利用者数とトータルコストから利用者1人当たりにかかるコストを算出すると、平均は845円です。施設別では、公民館の377円/人から北里市民センターの1,655円/人となっています。

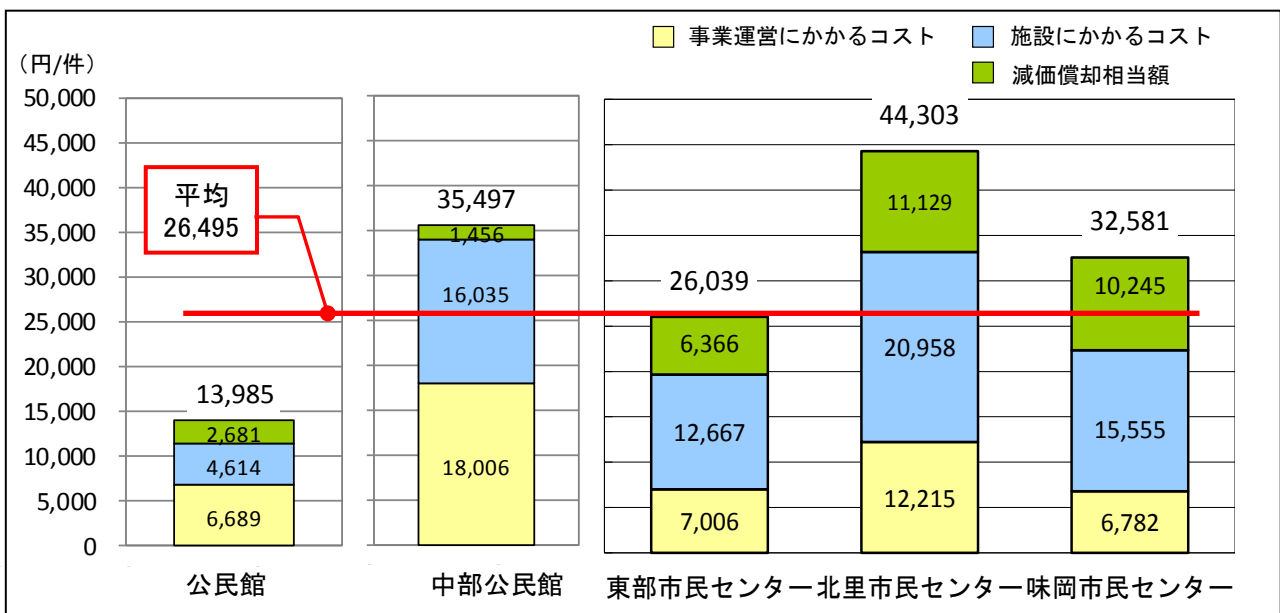
図表 施設別 利用者1人当たりにかかるコスト（平成24年度）



■ 利用1件当たりにかかるコスト

年間利用件数とトータルコストから利用1件当たりにかかるコストを算出すると、平均は2万6,495円です。施設別では、公民館の1万3,985円/件から北里市民センターの4万4,303円/件となっています。

図表 施設別 利用1件当たりにかかるコスト（平成24年度）



4) 市民センター（複合施設）の把握

■ 施設概要

市民センターは、支所・公民館・図書室・児童館・消防署からなる複合施設です。

支所では、各種証明書の発行業務等、窓口業務を行っています。

公民館では、施設の貸出のほか、市民センター全体の管理運営も行っています。

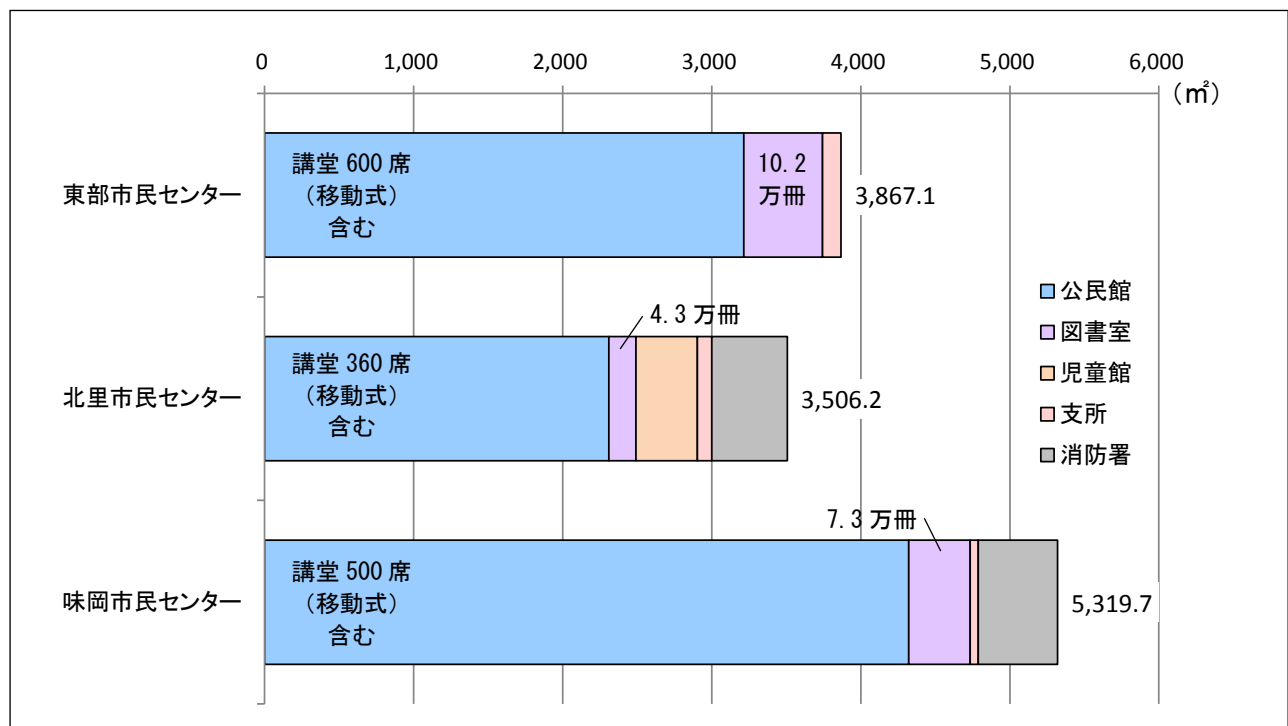
そのほか、児童館や消防署などを併設し、地域の生涯学習の拠点、地域活動の拠点施設となっています。

面積構成をみると、東部市民センター・味岡市民センターは公民館が施設の約80%を占めています。北里市民センターは、児童館も併設しているため、公民館は約70%となっています。

図表 施設一覧

名称	所在地	建築年度 (年度)	構造 (主たる建物)	延床面積 合計(㎡)	複合・併設施設				
					公民館	図書室	児童館	支所	消防署
東部市民センター	小牧市篠岡二丁目23番地	平成元	鉄筋コンクリート	3,867.1	3,215.5	528.3	—	123.3	—
北里市民センター	小牧市下小針中島二丁目130番地	平成4	鉄筋コンクリート	3,506.2	2,310.4	181.1	411.4	97.6	505.7
味岡市民センター	小牧市久保新町60番地	平成7	鉄筋コンクリート	5,319.7	4,322.7	412.0	—	53.4	531.6

図表 スペース構成



■ 利用状況

市民センターの利用者数を把握すると、東部市民センターは年間約 18.0 万人（601 人/日）、北里市民センターは年間約 9.6 万人（317 人/日）、味岡市民センターは年間約 17.8 万人（590 人/日）となっています。

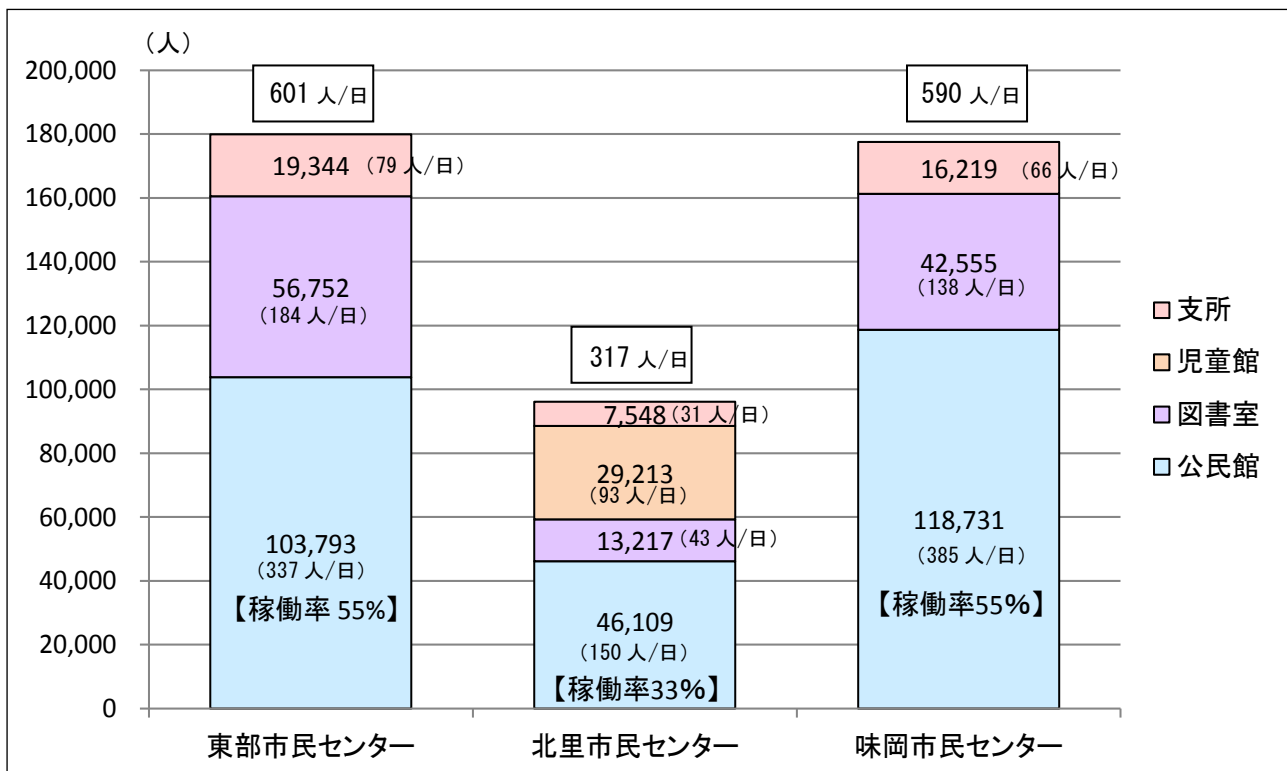
各施設とも、公民館、図書室、支所の順で利用者が多くなっています。

市民センターが立地している地区の住民 1 人当たりの年間市民センター利用回数では、東部市民センターが 5.0 回、北里市民センターが 4.9 回、味岡市民センターが 5.4 回であり、ほぼ同様の利用状況と言えます。

	公民館	図書室	児童館	支所	合計	地区住民 1人当たり 利用回数
開館日数	308日	308日	313日	244日		
東部市民センター	103,793人	56,752人	—	32,884件 (19,344人)	179,889人	5.0回
北里市民センター	46,109人	13,217人	29,213人	12,831件 (7,548人)	96,087人	4.9回
味岡市民センター	118,731人	42,555人	—	27,572件 (16,219人)	177,505人	5.4回

※支所の利用者数は市民 1 人当たり利用件数 1 人≒1.7 件より暫定的に試算した

図表 市民センター年間利用者数（平成 24 年度）



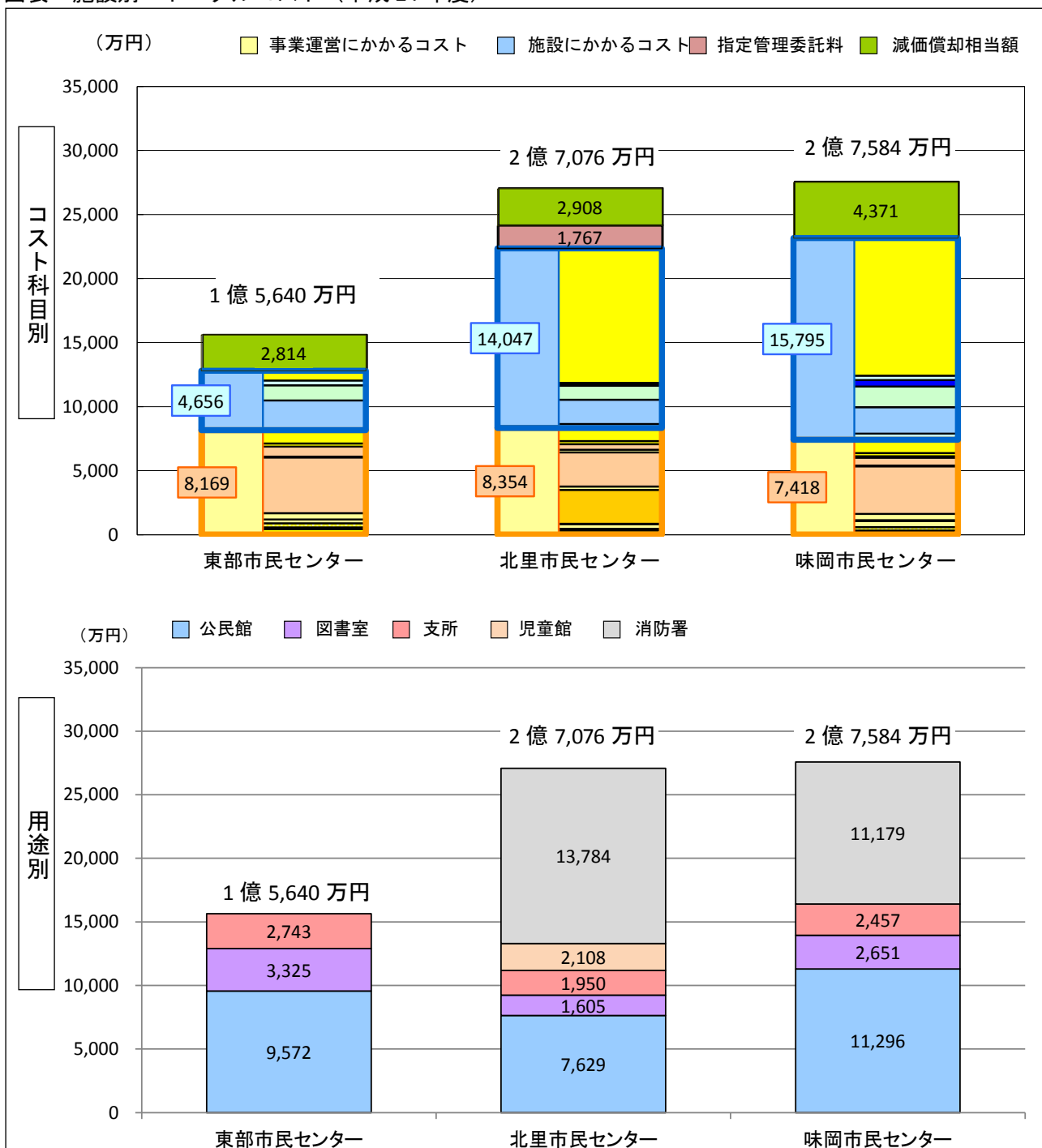
■ コスト状況

市民センター施設全体のトータルコストは、東部市民センターが1億5,640万円、北里市民センターが2億7,076万円、味岡市民センターが2億7,584万円となっています。

コスト科目別内訳をみると、事業運営にかかるコストは約7,400万円～8,400万円と施設により大きな差はありませんが、施設にかかるコストは施設によって約3.4倍の開きがあります。

用途別では、消防署のある施設は消防署のコストが占める割合が高くなっています。消防署を除くと、公民館が全体の約60%～70%と過半を占めています。

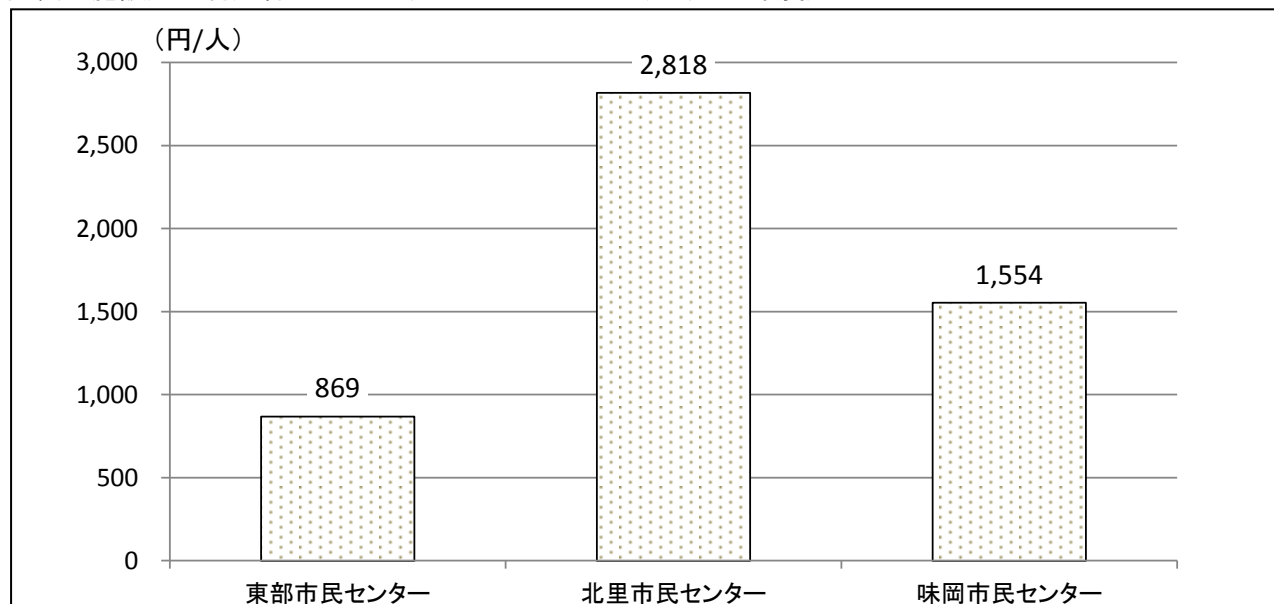
図表 施設別 トータルコスト（平成24年度）



＜利用者 1 人당にかかるコスト＞

年間利用者数とトータルコストから利用者 1 人당にかかるコストを算出すると、東部市民センターが 869 円/人、北里市民センターが 2,818 円/人、味岡市民センターが 1,554 円/人となっています。東部市民センターは消防署が併設されていないためコストが低く、北里市民センターは消防署に加え児童館も併設しているため、割高となっています。

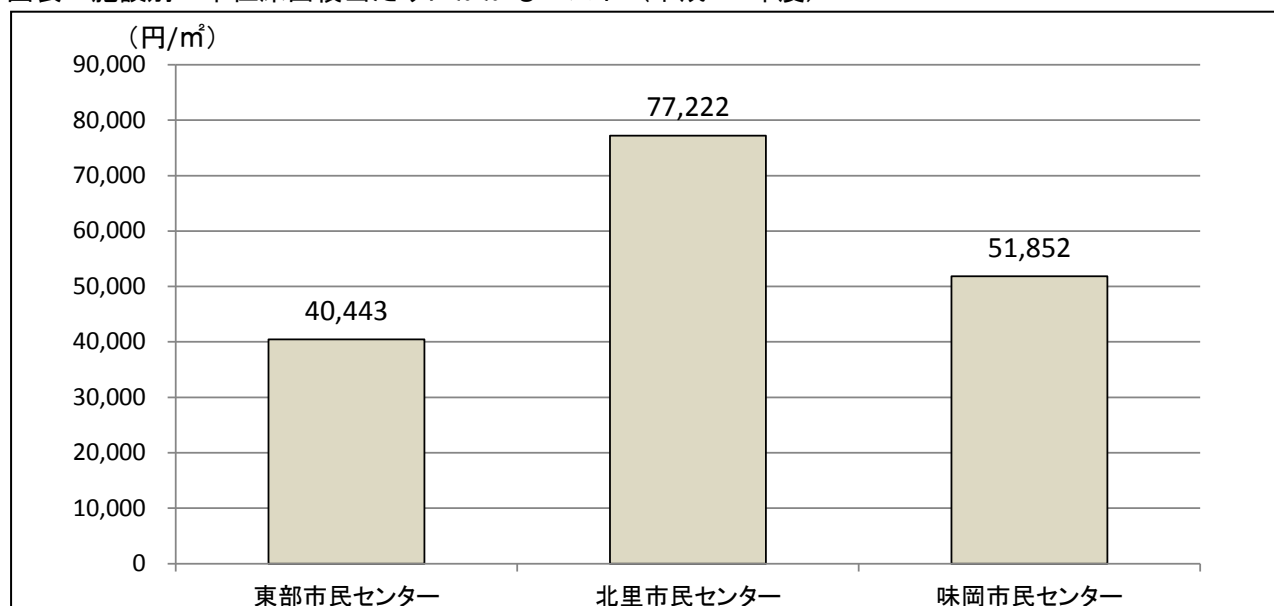
図表 施設別 利用者 1 人당にかかるコスト（平成 24 年度）



＜単位床面積当にかかるコスト＞

延床面積とトータルコストから単位床面積当にかかるコストを算出すると、東部市民センターが 4 万 443 円/㎡、北里市民センターが 7 万 7,222 円/㎡、味岡市民センターが 5 万 1,852 円/㎡となっています。北里市民センターは延床面積も 3 施設の中で最も小さいにも関わらず、消防署に加え児童館も併設しているため、割高となっています。

図表 施設別 単位床面積当にかかるコスト（平成 24 年度）



5) 今後の検討の視点

■ 施設に関する視点

- 5 施設全てで大規模改修実施済みですが、公民館、中部公民館は築 30 年以上経過し、東部市民センター、北里市民センターは築 20 年経過しています。そのため、今後も老朽化に伴い緊急を要する修繕も多くなってくると考えられます。
- 味岡市民センターは、築 18 年を経過しており、各部位の劣化状況を把握しつつ、修繕・改修時期の検討をする必要があります。

■ 利用に関する視点

- 施設の稼働状況をみると、全体では 48% ですが、北里市民センターは 40% を下回っています。中部公民館では、会議室・集会室の機能があるものの、他の施設と比較して稼働率が低くなっています。
- 部屋別に稼働率をみると、料理教室は全体でも 14% と最も低いことから、必要性や代替性などを含めて検討が必要です。また、和室等、施設によって稼働率が低くなる部屋では、利用ニーズを検証しながら、利用の高い機能へ転換していくなど、施設の有効活用の検討が必要です。
- 各施設、複合施設としての効果を検証し、より効率的なサービスの提供等について検討する必要があります。

■ コストに関する視点

- それぞれ複合施設となっており、入っている機能（児童館や消防署等）も異なっているため、利用者 1 人当たりのコスト、利用 1 件当たりのコストには差があります。

施設写真			
			
公民館	中部公民館	東部市民センター	
			
北里市民センター	味岡市民センター		